



日刊 労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

T 260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話{(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222) 7207番
※ 電話番号は4月29日から変更になります

92.5.6 No.3584

橋頭堡をうち立てた4・29首都圏統一行動！



6・14全国集会に 全力で決起しよう！

四月二九日、十三時から、東京・日本青年館において、首都圏第二波統一行動として、東京反戦共同委員会の結成集会が開催され、PKO―自衛隊の海外派兵阻止へ向けて、首都東京での反戦闘争を、闘う労働者・市民・学生が広範に結集できる橋頭堡をうち立てた。

集会は、関東圏から五〇名が結集して熱気溢れる中で開催された。開会宣言をうけて主催者を代表して長谷川英憲東京都議より、「昨年の二度のPKO成立阻止と三自衛官の闘いを引き継ぎ、労働者に依拠した闘いをつくる」と、PKO法案阻止へ真正面から

行動を発表した。PKO法案を廃案へと闘う労働者・市民・学生が広範に結集できる橋頭堡をうち立てた。

五月・六月を全力で闘おう」と、これからの闘いが極めて重要になつてくことが語られた。

基調報告が東京交流セ

ンターの三角代表から提出された後、反対同盟の北原事務局長、反戦自衛官の藤尾陸士長、部落解放同盟全国連合会、在日外国人の人権を守る会の林歳徳さんがそれぞれ連帯のあいさつを行つた。特に反戦自衛官の藤尾

五月・六月を全力で闘おう」と、これからの闘いが極めて重要になつてくことが語られた。

四月三〇日動力車会館において全支部物販担当者会議が開催された。昨年の冬季物販の成績に踏まえ、二回目のチャレンジとなる夏季物販二倍化へ向け、全組合員一丸となつて、全国・県内オルグに突き進んでいく体制構築の場として意思統一がなされた。

本部中野委員長より、情勢分析と動労千葉の闘う方針が提起されたあと、白井事業部長より昨冬物販の総括と夏季物販の具体的取り組みが提起された。とりわけ二倍化方針により、新規注文が多數上

がつてきたことなど、手応えを感じていること。来年三月総評センター解散という状況の中で、県内基盤の確立が急務であることを全出席者が確認した。

動労千葉の物販闘争は、財政基盤確立・解雇撤回の労働者の魂の闘いである。この闘いが全労働者の心を揺り動かしたからこそ、そして現場の組合員が額に汗してオルグに奔走しているからこそ、二倍化の実が成果となつて表ってきたのだ。

全国へ!県内を!

二倍化旋風で疾走しよう!

夏季物販で二倍化の実をあらわそう



さんは、「掃海艇派遣は直接的な軍事行動だった。PKOでもしカンボジアに派遣されれば人民と対峙することになる」と再びのアジア侵略を批判した。さらに、東京反戦共同行動委へ参加する各団体からの決意が次々語られた。運動・組織方針提起、役員紹介、結成宣言が満場の拍手で採択され、最後に行動方針と团结ガン

成をステップに、PKOを足元から搖るがす一大反戦闘争に立ち上がる。この五月・六月の最大の結集軸として、「六・一四全国集会」へ組織の全力を上げて決起しよう。

バローを三唱し、渋谷へ向けての約一時間のデモに出発した。

PKO法案をめぐる状況は一時も油断できない緊迫した情勢を迎えていた。



へ